



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY



第16回 技術シンポジウム

自然災害に強いみちづくり

～交通機能を確保するために～



日時 令和6年10月22日(火) 13:30～17:25

会場 アクロス福岡 B2F イベントホール
(福岡市中央区天神1-1-1)

プログラム

- 13:30～13:35 開会挨拶
13:35～14:10 講演1
『道路網の多重化による災害時の道路網の機能確保
および緊急物資支援システムの課題』
外井 哲志 (福岡建設専門学校非常勤講師(元九州大学大学院工学研究院))
14:10～14:45 講演2
『災害時の対応状況・交通機能確保に向けた取り組み』
石橋 賢一 (国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路情報管理官)
15:00～15:35 講演3
『民間プローブカーデータを活用した
災害時通行実績情報システムと今後の展望』
斉藤 祐司 (特定非営利活動法人 ITS Japan 地域ITSグループ 部長)
15:45～16:20 講演4
『産官学連携による「道」の進化への期待
～クラウド・AI時代の災害対応とDXの挑戦～』
西村 出 (株式会社セブン-イレブン・ジャパン 執行役員)
16:30～17:05 講演5
『NEXCO西日本の防災への取り組み』
荒平 裕次 (西日本高速道路株式会社 九州支社 保全サービス事業部長)
17:05～17:20 学生アイデア発表
『Navi NEXCO』
道路工学実践教室 最優秀班
17:20～17:25 閉会挨拶

開催方法

会場での開催に加え、動画配信も実施いたします。

会場開催

HPの「シンポジウム参加申し込み」からお申し込みください。

※事前申し込みのない方の当日参加はお断りいたします。

※土木学会認定CPDプログラム(認定番号JSCE24-1081)

動画配信

ライブ配信とオンデマンド配信のURLをHPに掲載します。

HPよりご確認ください。

申込み先

※その他注意事項も併せてご確認ください。

<https://www.kyushu-u-nexco.jp/index.html>

申し込み締め切り 10月11日(金)



主催：九州大学 共催：西日本高速道路株式会社
後援：国土交通省九州地方整備局、(公社)土木学会西部支部、(公社)地盤工学会九州支部
(一社)九州橋梁・構造工学研究会、(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部
(一社)日本建設業連合会九州支部、(一社)九州地域づくり協会
お問合せ先：西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社
kikaku@w-e-kyushu.co.jp



第16回技術シンポジウム

自然災害に強いみちづくり ～交通機能を確保するために～

私たちの生活は、自然災害と隣合わせにあり、今年の元旦に発生した能登半島地震のように、いつ甚大な被害をもたらす自然災害が発生するのか予期できません。私たちの使命は、災害発生時にいかに被害を軽減させるか、また生じた被害をいかに早く復旧させるかにあり、いつ発生するかわからない災害に常に備えておく必要があります。特に災害時の交通機能確保は、人命救助、被災地の復旧、物資輸送等に不可欠であり、最重要事項です。

本シンポジウムでは、『自然災害に強いみちづくり ～交通機能を確保するために～』をテーマに、産・官・学・民における災害時の交通機能確保・物資輸送の取り組みを紹介致します。災害発生時のオペレーションにより人や物の流れを確保し、被災地域をいち早く支援・復旧できるように各業界が取り組んでいることを紹介したうえで、頻発・激甚化する災害対応の強化を図っていくものと考えております。

産・官・学・民の防災・減災への新たな取り組みを確認し、みなさんで災害への備えについて考えていきたいと思います。

講演者略歴



外井 哲志(とゐ さとし) 福岡建設専門学校非常勤講師(元九州大学大学院工学研究院)

1978年、九州大学大学院工学研究科土木工学専攻修了、同年、建設省土木研究所道路研究室配属、道路構造令の開設と運用などの改訂作業、交通量観測システムの研究等に従事。大阪府警察本部交通安全調査室にて交通事故分析に従事。1987年より九州大学土木工学科にて、交通計画学、土木計画学、都市計画学などの教育・研究に従事。1991年に博士(工学)。2019年定年退職。大学在勤中は、交通量観測システム、道路ネットワーク、道路案内誘導システム、港湾物流、放置自転車対策、散策と歩行空間、住民参加の道づくり、地域公共交通などのテーマで研究を実施。現在、災害による道路網の多重性と地域の分断に関する理論研究を進めている。日本都市計画学会副会長、九州都市学会会長を歴任。2020年より福岡建設専門学校で非常勤講師。



石橋 賢一(いしばし けんいち) 国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路情報管理官

1967年 福岡県出身。
1989年 九州地方建設局に入省。
九州地建、本省道路局企画課、沖縄総合事務局道路管理課、九州地整鹿児島国道事務所調査課長、道路計画第一課長補佐、道路計画第二課長を歴任、その後、佐伯河川国道事務所長、企画部環境調整官を経て、2024年4月から現職。
これまで道路事業全般に従事してきており、九州での様々な災害対応だけでなく、全国の災害支援も多数経験。



斉藤 祐司(さいとう ゆうじ) 特定非営利活動法人 ITS Japan 地域ITSグループ 部長

1990年株式会社本田技術研究所に入社し、和光基礎技術研究センターに配属。2008年に経営学修士(専門職)修了後、未来交通システム研究室に異動し都市交通研究を担当。その後、スマートモビリティ開発室における超小型モビリティ社会実証実験担当を経て2020年より本田技研工業株式会社モビリティサービス事業本部に異動。2022年より特定非営利活動法人 ITS Japanに出向、現職。「地域のレジリエンス向上」の視点から、ITSを活用し総合的な防災力向上に貢献することを目指す災害レジリエンス委員会を担当するとともに災害時通行実績情報システムの運用を担当。



西村 出(にしむら いずる) 株式会社セブン-イレブン・ジャパン 執行役員

大手企業グループにおいて20年以上にわたり金融、不動産等業務パッケージ企画、エネルギー分野の新規クラウド事業立上げ、大規模合併会社システム統合コーディネート等幅広いIT分野での実績を経て2014年よりセブン&アイ・ホールディングスのシステム企画部(当時)出向、2019年4月に転職、2020年9月システム本部長、2021年3月執行役員就任、現在に至る。

セブン-イレブンでは、業界先駆けとなるインバウンドシステム企画、本部業務のDX推進、さらにはクラウドを活用した災害対策システム「セブンVIEW」構築、リアルタイムデータ基盤「セブンセントラル」構築などをリード。

その取り組みは民間企業のDXの先進的事例として多くのメディアで取り上げられている。

2021年SEJはDX取組が評価され、全世界企業から選ばれる第1回GoogleCustomerAwardを受賞。



荒平 裕次(あらひら ゆうじ) 西日本高速道路株式会社 九州支社 保全サービス事業部長

1970年福岡県出身。1994年3月九州大学工学部卒業後、日本道路公団採用。九州支社中津工事事務所上毛工事長、本社経営企画部グループ経営戦略課長代理、九州支社建設・改築統括課長、鹿児島高速道路事務所長、本社保全サービス事業部危機管理防災課長などを経て2024年6月より現職。現在、九州支社保全サービス事業部長として、九州管内の保全サービス事業を統括する立場に従事している。